

パラリンピアンによる 障害平等研修

パラリンピアンがファシリテーターとなり、「障害とは何か」社会の中にある障害を見つけ、誰もが当たり前前にスポーツを楽しめるよう、行動に移すためのグループワークを行います。わたしたちに何ができるのか、一緒に考えましょう。

日時

令和4年

3/12(土)
13:10~16:40

会場：産業商工会館（展示室）

阿佐谷南3-2-19

定員：30名（先着順）

参加料：500円

対象：区内在住・在勤・在学の16歳以上の方
（定員に満たない場合は区外者も可）

持ち物：筆記用具、飲み物

講師 高田 朋枝



幼少期に視力が低下し、現在は明暗がわかる程度。高校在学時にゴールボールを始め、2008年に北京パラリンピック日本代表として出場。単身で欧米10カ国のゴールボールを視察し、帰国後は経験を生かし普及活動に尽力。北海道出身。杉並区在住。

障害平等研修とは

障害平等研修は、世界基準の障害教育です。障害者自身がファシリテーター（進行役）となって進めるワークショップ型の研修です。対話を通じた「発見」を積み重ねていく中で、差別や排除など、社会の中にある様々な「障害」を見抜く力を獲得し、それらを解決していくための行動を形成します。

お申込みは
こちら

杉並区スポーツ振興財団ホームページ

または 電話 にてお申込み下さい 2/1 より受付

☎03-5305-6161（平日 9:00~17:00）



主催：杉並区

主管：公益財団法人 杉並区スポーツ振興財団

杉並区阿佐谷南1-14-2 みなみ阿佐ヶ谷ビル8階 <https://sports-suginami.resv.jp>

- 応募の際にお寄せいただいた個人情報、上記以外の目的で使用することはありません。
- 新型コロナウイルスの感染状況等、今後の社会情勢の変化によっては、日程や内容などの変更、中止もしくは延期等となる場合がありますので、ご了承ください。